

第6次福島県総合教育計画 令和2年度アクションプラン 主な取組

主要施策1 一人一人を伸ばすふくしま学力向上推進事業（義務教育課）

「ふくしま学力調査」実施により児童生徒一人一人の学力の伸びをきめ細かく把握し、調査結果に基づく指導の工夫・改善により、子どもたちの学力向上を着実に図ります。

「ふくしま学力調査」の特長
さまざまな難易度の問題を
散りばめた学力調査を継続
して実施することにより、
子どもたちひとりひとりの
学力の伸びを把握すること
ができる。

	小4	小5	小6	中1	中2
レベル12					
レベル11					
レベル10					
レベル9					
レベル8					
レベル7					
レベル6					
レベル5					
レベル4					
レベル3					
レベル2					
レベル1					

主要施策1 オールふくしま学力向上推進事業（高校教育課）

（R元までは アクティブ・ラーニングによる学力向上推進事業）

難関大学への進学を志望する生徒を対象として合同学習会を開催し、生徒の志を高めるとともに、各校における理数教育や思考力等を育む取組を支援することで、本県で学ぶ高校生の学力向上を推進します。



オールふくしまリーダー
育成プロジェクト

主要施策2 新時代の学校における I C T 環境研究開発事業（教育総務課） G I G A スクール構想実現事業（教育総務課）

県立学校を対象に、新学習指導要領及び新時代の学びに必要な I C T 環境の整備を進めるため、指導力向上開発校を中心に、指導法の開発・検証や事例の蓄積を行います。県立学校に無線 L A N 環境を導入するとともに、義務教育段階の児童生徒 1 人 1 台端末の整備を支援します。

主要施策2 ふくしまの学校キラリ学力向上プロジェクト（義務教育課）

（R元までは 「学びのスタンダード」 進化プロジェクト）

教育実践拠点校（キラリ校）を創設し、エビデンス・データに基づいた成果や有用性について、それぞれの学校と共有を図り、県内全ての学校が、学力向上においてキラリと輝く学校になることを目指します。また、R S T 研究協力校の実践を基に指導法やカリキュラムの開発に取り組み、児童生徒の基礎的読解力の向上を図ります。

主要施策3 ふくしま創生人財育成事業（高校教育課）

全県立高等学校で地域課題探究活動を推進するため、会津地区の拠点校 2 校に「地域コーディネーター」を配置し、探究学習を充実させます。また、その成果を高校生による「ふくしま創生サミット」や「社会貢献活動コンテスト」などで発信します。

主要施策4 英語でつなぐ復興の架け橋支援事業（高校教育課）

（R元までは 未来を担う高校生海外研修・グローバル支援事業）

将来、本県復興を担う福島の高校生が、故郷である福島について世界の人々に英語で的確に伝えられるよう深く学習する姿勢を育むとともに、海外研修で学んだ見識を、本県復興のために積極的に提言できるような高いコミュニケーション能力をもったグローバルな人材を育成します。

主要施策5 特別支援学校整備事業（施設財産室）

特別支援学校への入学を希望する児童生徒による教室の過密化や、遠距離からの通学による児童生徒への負担軽減を図るため、聴覚支援学校福島校、相馬支援学校、伊達地区特別支援学校を整備し、教育環境を充実させます。